

学校教育目標『ともに なかよく かしこく たくましく』 **元気！笑顔！三日月サイコー！**



三日月っ子

育友会目標：『みんなが楽しく 笑顔になる三日月小！』
『子どもと共有しよう！家でも立腰』

小城市立三日月小学校
学校だより No. 9
令和7年12月18日
文責 校長 西村 雪彦



「三日月デー」参観ありがとうございました

11月12日（水）は、今年度2回目の「三日月デー」、授業参観でした。昨年度に引き続き平日での開催でしたが、ご多忙な中多くの皆様に参観して頂き、誠にありがとうございました。1学期と比べて、お子さんの学校での様子はいかがだったでしょうか？クラスの一員として成長している子どもたちの姿があったのであれば、大変嬉しく思います。

3時間目にはC A P保護者ワークショップを開催しました。C A Pとは、「Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）」の頭文字をとってそう呼んでいます。子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から自分の心とからだを守る暴力防止のための予防教育プログラムです。今回のワークショップが子育ての一助となれば幸いです。

12月も残りわずかとなりました。今後も、充実した教育に取り組みますので、今後ともご理解とご協力よろしくお願ひいたします。



大盛況チャレンジショップ

三日月サイコー！の修学旅行

12月3日（水）～4日（木）に、6年生は長崎へ1泊2日で修学旅行に行きました。長崎は『平和』と『異国文化』を学ぶことができる素材溢れる街。また、同学年の友達と寝食を共にし、集団行動をすることで多くの『学び』に出会う場でもあります。

1日目は、午前中に原爆資料館の見学と語り部の方の話を聞きました。その後、平和公園での平和祈念式を終え。寒さが厳しかったのでバスの中で昼食をとりました。午後は、各クラスで約3kmのフィールドワーク（平和公園→山里小、城山小、如己堂、浦上天主堂、旧長崎医科大学門柱、山王神社〔一本柱鳥居、被爆クスノキを含む〕の5箇所→【ゴール】原爆資料館）を徒步で行いました。

長崎の夜景を一望できる宿泊地のホテルでは、夕食に出たすき焼きをみんなでおいしくいただきました。夜は、昨年度の自然教室以来の友達との宿泊ということで、各部屋ではトランプをしたり、おしゃべりをしたりして楽しく過ごしました。

2日目は、班ごとに長崎の街を探索しました。途中、「迷子になった！？」のような班も見かけられましたが、無事グラバー園へ全班到着！昼食は、自分たちで店を選び食事をしたり、簡単な食事で済ませたりと各自の懐事情に合わせた行動が見られました。

今回の長崎への修学旅行は、6年生にとって三日月小の思い出の大切な1ページになったこと思います。なお、11月26日（水）に実施した「6年生のイベント」については、次回以降紹介いたします。



入賞おめでとう！！

●校長室で表彰済み

●佐賀県バスケットボール交歓大会	優勝	三日月女子ミニバスケットボールクラブ
●百田陽菜旗争奪第14回ちびマッチ選手権九州決戦	準優勝	三桜ボーイズ (三日月スラッガースを含む)
●小城市ジュニアソフトテニス大会	初心者の部	3位 森千笑(2年)
●「わたしたちのくらしと農業」図画コンクール	【図画部門1部】	県知事賞 3年)
●「わたしたちの夢のトラック」絵画コンクール		優秀賞 (1年)
●JA共済小・中学生書道コンクール	【半紙の部】	銅賞 (5年)
	【条幅の部】	佳作 (6年)
	【半紙の部】	佳作 (3年)
●統計グラフ佐賀県コンクール	【第1部】	佳作 (6年)
	【第1部】	佳作 (2年)
●県冬季水泳競技大会	【10歳以下 男子 4×50m フリーリレー】	
	第1位 記録: 2分21秒53	(5年)
●県障がい者文化芸術作品展	工芸の部	審査員特別賞 (4年)
●博愛フェスタ 全国博愛絵画展	1・2年生の部	入選 (1年)
	3・4年生の部	入選 (3年)
●小城市教育委員会教育長「子ども表彰」		(1年)
		(2年)
●小城市「早寝・早起き・朝ごはんポスター」	コンクール	表彰式 (2年)



芸術鑑賞「民音による学校コンサート」

毎年この時期に芸術鑑賞を行っています。今年度は「一般財団法人民主音楽協会(略して民音)」の主催による和太鼓での学校コンサートを、全学年で鑑賞しました。和太鼓の歴史は古く、何と縄文時代までさかのぼるとの事でした。途中、代表の子供たちと先生によるリズム打ちも披露されました。

和太鼓の魅力は、何といってもその音や振動による迫力、そして一体感や手軽さではないでしょうか。耳の不自由な方も、和太鼓による空気の振動を体全体で感じ取ることができます。子供たちも視覚、聴覚はもとより、様々な感覚を通して和太鼓の魅力を味わったことだと思います。

音楽を楽しむ方法は、「聴く」「弾く」「作る」の3つに大別されるのだそうです。今回の鑑賞を通して「聴く」楽しみに全員触れたことでしょう。また、代表の子供たちは「弾く」楽しさも味わったことと思います。今回の経験が、今後の子供たちの人生をより豊かにして基盤となることを願っています。

